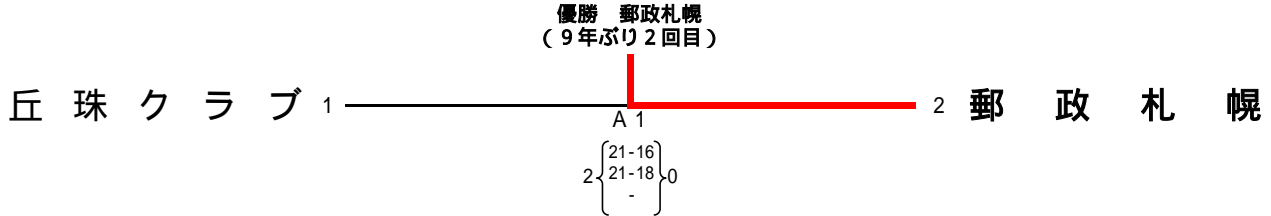


第22回 9人制道央大会

平成18年7月29日(土) 札幌市北区体育館

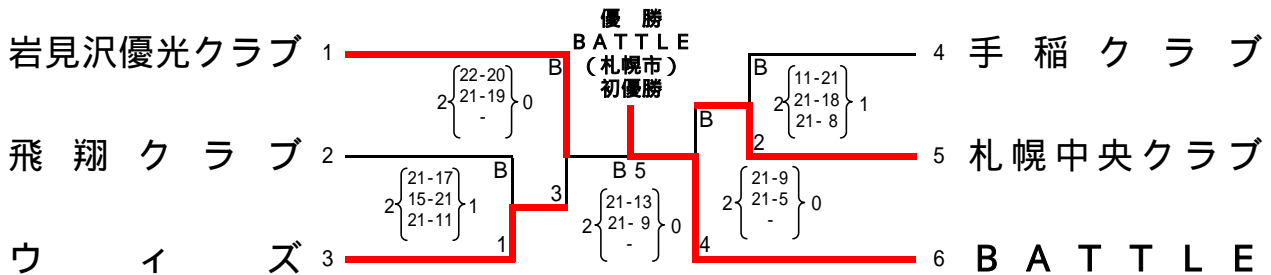
大会長：吉川 貴盛
 大会委員長：鈴木 一昭
 競技委員長：鈴木 富雄
 審判委員長：川股 洋一
 総務委員長：沓沢 幸一

【男子の部】



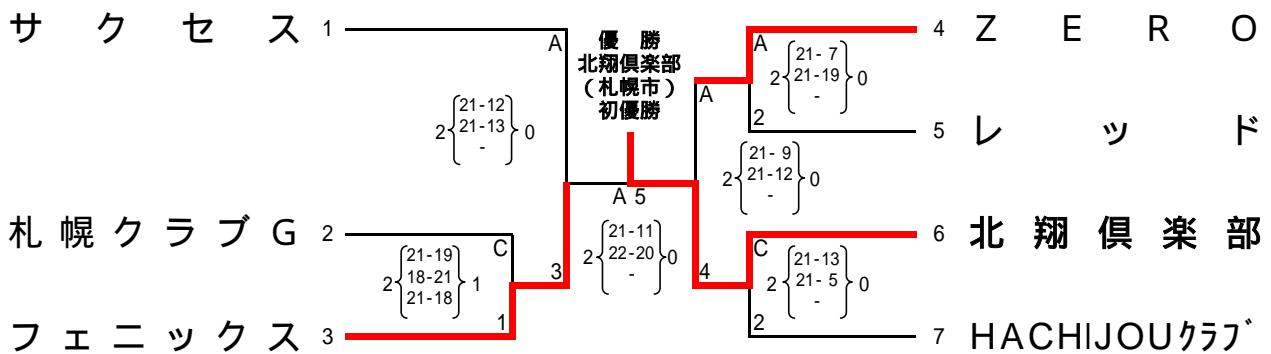
戦評(9人制男子決勝戦)1セット:中盤まで一進一退の展開であったが、郵政札幌の15番俵谷選手のコースを打ち分けたサーブ等で先行した。終盤、丘珠クラブは17番森選手の好サーブと、攻守がかみあい追いついたものの、郵政札幌が6番林選手、9番奥野選手のスパイクが決まり、21-16と先取る。2セット:序盤、丘珠クラブは4番平島選手、2番早坂選手のスパイク等で得点するが、郵政札幌も9番奥野選手、2番能見選手のブロックとレシーブがかみあい、終盤まで互角の展開で進む。最後は郵政札幌が5番坪井選手の好サーブと持ち前のレシーブ力から左右の攻撃が決まり、21-18と勝利し、9年ぶり2回目の優勝を飾った。

【女子の部】



戦評(9人制女子決勝戦)1セット:序盤は互角の戦いをしても、BATTLEの安定したレシーブ力と6番小幡選手の多彩なトスワークで9番三浦選手、2番本田選手に球を集め差を広げる。岩見沢優光クラブも1番清水選手、17番矢野選手に球を集め切り返すも、サーブ力の高いBATTLEが21-13と先取した。2セット:岩見沢優光クラブのサーブレシーブが乱れ、BATTLEが逃げにかかるが、粘り強いレシーブで耐えながら4番三浦選手のクイックで持ち返す。BATTLEは4番小林選手の連続サービスエースで突き放し、両オープンの方強いアタックで、BATTLEが21-9と勝利し初優勝を飾った。

【4号球の部】



戦評(9人制4号球決勝戦)1セット:序盤は一進一退の展開であったが、中盤から北翔倶楽部の5番大森選手、12番宮崎選手の攻撃が決まりだし、フェニックスのミスにも助けられ、北翔倶楽部が21-11と先取る。2セット:序盤から北翔倶楽部は2番橋本選手、12番宮崎選手、フェニックスは10番森選手、11番坂選手の両アタッカーが決まりだし、両者一步も譲らない緊迫した展開はジュースまでもつれ込んだ。マッチポイントを迎えた北翔倶楽部は8番桜場選手のサービスエースで22-20と勝利し初優勝を飾った。

【成績結果】

男子の部	優勝 郵政札幌	準優勝 丘珠クラブ (札幌市)	
女子の部	優勝 BATTLE (札幌市)	準優勝 岩見沢優光 クラブ	3位 札幌中央クラブ ウィズ(江別市)
4号球の部	優勝 北翔倶楽部 (札幌市)	準優勝 フェニックス (石狩市)	ZERO(札幌市) サクセス(札幌市)